

収入保険で安定を得ました

企業型の集落営農を目指し、平成18年に合同会社を設立、水稻・麦・大豆をメインに経営しています。多くの集落営農が抱える後継者問題を克服するため、集落にこだわらず広く人材を集めることや、雇用による人材確保に努めています。従業員への雇用のためには、年間を通じた作業が必要となります。信長ネギ・ニンニクなどの野菜栽培にシフトし、収益及び作業量の確保を行っています。

令和2年度から収入保険に加入しました。昨年度、米価の下落により売上が減少した時は助かりました。収穫量ではなく売上の補償ですので、経営を続けていくうえで「安定を得る」ことができません。また、農地を守るとともに利益を上げるため、冒険することも大切です。失敗を恐れず、新しい作物や栽培方法にチャレンジできることも収入保険の良い点だと思います。



収入 保険

近江八幡市

合同会社 ひがしまち 東町ふぁーむ

代表社員

きせ

木瀬 よしぞう 吉蔵さん(72歳)

【経営規模】

水稻16ヘクタール 小麦12ヘクタール 大豆8ヘクタール

野菜1ヘクタール W C S 4ヘクタール